



シンガポール

NCB 海外レポート

スマート・シティ「シンガポール」の都市風景⑩

～西南学院大学×NCB 産学連携の取り組みについて～

◇ はじめに

- ・ 当行シンガポール駐在員事務所では、西南学院大学との産学連携協定に基づき、「海外インターンシップ」の受け入れを実施しています。
- ・ 本稿では、今年 8 月に実施した海外インターンシップの様子についてご紹介いたします。

◇ インターンシップの概要

- ・ 本プログラムは、地域で活躍できる国際人材の育成を目的としており、2019 年にスタートしました。4 回目となる今回は、西南学院大学商学部の学生 4 名を当事務所にて受け入れました。
- ・ 5 日間のプログラム期間中には、シンガポールで活躍する当行のお取引先企業を中心に 15 社以上を訪問し、アジアで事業を展開する上での重要な視点や課題等のインタビューを行いました。
- ・ 当行のお取引先のほか、シンガポール国立大学が運営に携わる起業支援施設や外資系企業なども訪問し、参加学生にとっては、日本と海外の商習慣の違いや、海外から見た日本企業の立ち位置などについて視野を広げる貴重な機会となりました。

◇ 学生たちの学び～国際人材を目指して～

- ・ 上記の企業訪問に加え、市内の散策なども行い、参加学生にとって今回のプログラムは非常に濃密な体験となりました。参加学生のほとんどは今回が初めての海外渡航でしたが、公共交通機関や配車アプリなどを駆使し、自由に活動する姿が印象的でした。また、アジアの国際都市として様々な国の人々を受容する同国の仕組みを、いかに福岡に導入するかを考える学生たちの姿は頼もしいものでした。
- ・ 一方で、今後、国際人材を目指す上で、英語での会話を含めたコミュニケーション面の課題も見えてきました。企業訪問時に現地社員の方々との交流の機会を得る中で、多様な国籍の人々に対し、英語で自身の考えをしっかりと伝えることの難しさを実感したようです。
- ・ 参加学生からは、「帰国後は語学学習に継続的に取り組み、将来は日本のサービスを世界に広める支援がしたい」、「これまで漠然と憧れていた世界で働くということを実現するため、これからゼミでの研究や異文化交流に主体的に取り組みたい」等の感想を頂きました。

◇ おわりに

- ・ 本プログラムは、参加学生の皆さんにとって、日本と世界をつなぐ人材になるために、これから何を学ばべきかを真剣に考えるきっかけとなったようです。
- ・ 当行は、今後も大学と様々な連携を図りながら、地域の未来を担う人材の育成に積極的に関与することで地域の活性化に取り組み、地域に貢献してまいります。



(今回インターンシップに参加された学生の皆さん)

2025 年 9 月 29 日作成
シンガポール駐在員事務所 作成